

# 第八次香川県保健医療計画（案）の 作成等について

香川県健康福祉部医務国保課

## 第八次香川県保健医療計画（案）の作成等について③

	意見（要旨）	意見に対する県の考え方
脳卒中	<p><b>第7章第2節「2 脳卒中」について</b></p> <p>【課題】の（1）発症予防において、脳梗塞の中で最も重症度の高い心原性脳塞栓症の主な原因である心房細動の早期発見、抗凝固療法の導入の記載が必要だと思う。</p> <p>また、脳梗塞の再発率は高く、初回が軽症でも再発時は致命的となる場合もあるため、脳梗塞の再発予防に関する記載も必要ではないか。特に、心原性脳塞栓症の1年再発率は、適切な抗凝固療法がなされない場合、約20%と非常に高いことが分かっている。さらに、心原性脳塞栓症が疑われながら原因が不明の場合もあり、再発予防のための原因精査（主に心房細動の検出）の記載が必要と考える。</p> <p>脳梗塞の再発予防の均一化のため、県内の脳梗塞再発率の調査及び医療機関の再発予防の取組率の調査が必要ではないか。</p>	<p>心原性脳塞栓症の主な原因となる心房細動の早期発見・早期治療が脳卒中の発症予防につながることの重要性は認識しているが、本計画は、県の保健医療行政の基本となる計画であり、単一疾患の具体的な治療方法を網羅的に記載することは難しいと考えている。</p> <p>なお、脳卒中の再発予防については、関係機関と連携しながら、県民への普及啓発や医療従事者間の連携強化等に取り組んでいるところであり、いただいた御意見は今後の施策展開の中での参考とさせていただきます。</p>
心筋梗塞等の心血管疾患	<p><b>第7章第2節「3 心筋梗塞等の心血管疾患」について</b></p> <p>香川県は、心血管疾患死亡率が全国平均より高い一方、急性心筋梗塞と心不全の心血管疾患死亡に占める率はいずれも全国平均より低い。心疾患死亡率の低下を目的とするなら、急性心筋梗塞と心不全以外の心血管死亡率を上昇させている疾患を突き止め、具体的対策を立てる必要がある。</p> <p>また、全国的に心不全死亡率の心血管疾患死亡率に占める割合は高く、急性心筋梗塞死亡率の約3倍であり、心血管疾患対策の最大の課題である。特に、香川県は急性心筋梗塞死亡率の約4倍と全国平均よりも高いことから、心不全死亡率を低下させる具体的対策及びロジックモデルの目標・目的における心不全に関する記載が必要と考える。</p> <p>さらに、心不全に言及する場合、心房細動が誘因となっている頻度が高いため、心房細動の管理に関する記載も必要と考える。</p>	<p>心不全への対策の重要性については認識しているところであり、心不全にもつながる「虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少」を、現行計画からの継続目標とするとともに、次期計画からは、心不全を含む「心疾患の年齢調整死亡率の減少」を新たに数値目標として加えたところである。</p> <p>御指摘いただいた心不全死亡率を減少させる具体的な対策等については、効果的な施策につながるよう、関係機関と連携しながら、今後具体的な取組みを検討してまいりたい。</p>